

みなとが変わると日本が変わる～21世紀の活力はみなとから～

港湾空港ニュース香川

—高松港湾・空港整備事務所だより—

2016

1

月号

<No.189>

CONTENTS

- 高松港保安対策総合訓練
- 瀬戸内海の路ネットワーク推進協議会
担当者会開催
- 高松空港ルーフ(屋根)等工事
- 高松空港滑走路改良工事
- 練習船「海王丸」がやってきました
- 安全パトロールに参加



国土交通省 四国地方整備局
高松港湾・空港整備事務所



新春に12年前を振り返る

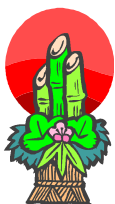
みなさま、明けましておめでとうございます。今年の支は申です。では、前回の申年を覚えていますか。12年前の平成16年は、今年の漢字(当時)が「災」であったように、中越地震や新潟・福島豪雨等の自然災害が多発した年でした。高松市内でも、台風16号による高潮で、床上・床下併せて約一万五千世帯が浸水という甚大な被害が発生しました。これを受け、当事務所では、高松港海岸の保全施設整備事業において、事業途中段階で設計条件を変更し、上述の高潮に対しても防護可能な構造としました。平成22年度に整備完了した後、過去の浸水被害潮位と同等の高潮が数回発生しましたが、背後地域の浸水被害はゼロとなっています。しかし、あと数年事業進捗が早ければ、12年前の浸水も軽減できたのではと思います。

一方、12年前の自身を振り返りますと、留学中でパリに滞在中で、フランス語(以下、仏語)の習得に苦労してました。やっと思疎通ができたころに帰国となり、それ以来仏語とは無縁で、もはや挨拶しかできない状態です。帰国後、もう少し真面目に仏語を学習すればよかったと反省する次第です。

年初めから過去の話ばかりで恐縮ですが、ここで述べたいのは、私たちは、過去の事をよく学ぶべきだということ。未来へ行くこともは誰もできません。しかし、過去に学ぶこと、そして未来を想像することは可能です。この世の中、そして私たちの人生をよりよくするために、漫然とではなく、過去に学びつつ、未来を見据えながら、今の瞬間を精一杯生きる事が重要です。また、それは、この平成28年を生きる私たちが、先人と次世代に対して果たすべき責務です。新年を迎え、改めてそう感じる次第です。私も手始めに仏語の学習を再開しようと思っております。本年も、どうぞよろしくお願ひします。

高松港湾・空港整備事務所長

廣松 新



高松港保安対策総合訓練



平成27年11月16日(月) 高松港朝日地区(12m)岸壁において、高松港保安対策総合訓練が実施されました。

2001年のアメリカ同時多発テロを契機とした改正SOLAAS条約に基づき施行された「国際船舶・港湾保安法(略称)」により訓練が義務づけられており、今回で9回目の実施となります。

この訓練は、高松港保安委員会及び高松港危機管理コアメンバーの主催によるもので、香川県(高松港港湾管理者)、高松海上保安部を始めとした関係各機関との連携を深め有事の際の体制を構築することを目的としています。

訓練内容は、事前の保安レベル引き上げ訓練に始まり、関係機関への情報伝達訓練、現地においては、船艇5隻、航空機1機、車両11台、人員約120名の参加により実働訓練が行われました。



▲ 船舶の消火活動を行う消防隊



▲ 機動隊による爆発物処理



▲ 不審ボートを追いかける 巡視艇「ひなぎく」

実動訓練では、不審者が係留中の外国船に逃げ込んだという想定で行われ、外国船の立入検査、避難誘導、不審ボートの追跡、負傷者救助、船舶の消火、テロリストの検挙、爆発物の処理等、と多数の関係機関が連携し多岐にわたる内容を遂行しました。

訓練の3日前にはパリで同時多発テロが発生し、世界中がテロに対する警戒を深める中での訓練となり緊迫感に満ちたものとなりました。

(港湾保安調査官 上島)

瀬戸内・海の路ネットワーク 推進協議会担当者会 開催

平成27年11月12日(木) 13日(金)の2日間、香川県東かがわ市において、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会担当者会が開催されました。

協議会は、瀬戸内地域の更なる振興と発展を図ることを目的に、平成3年5月に設立され、瀬戸内海沿岸市町村、府県及び国の約130団体から構成されています。担当者会当日は約100名が参加し、今年度の活動報告や来年度の総会提案事項に向けた活動方針等について活発な議論が行われました。

また、13日に行われた現地視察では、風待ちの港として江戸時代から栄え、現在も当時の面影が残る建物や町並みの視察を行い、東かがわ市担当者より、東かがわ市の魅力を説明しました。

(企画調整課 高木)



▲ 現地視察の様子



▲ 担当者会の様子



▲ 藤井秀城東かがわ市長による歓迎挨拶

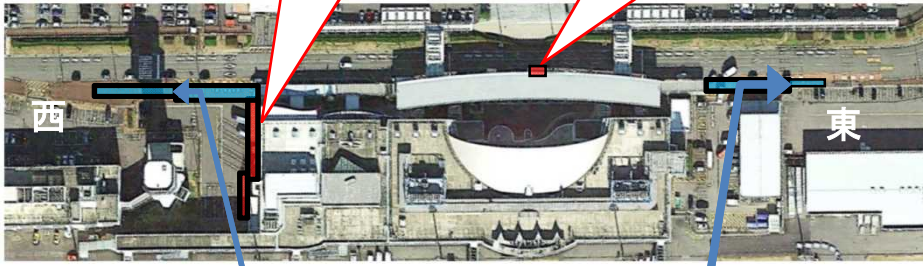
高松空港 ルーフ（屋根）等工事

平成27年10月末より、高松空港を利用される方々の利便性向上を図るため、旅客ターミナルビル両端の歩道ルーフやバスプールのルーフ及び身障者乗降場等の設置工事を進めております。

平成27年12月25日からは、バスプールのルーフ、身障者乗降場が完成し、雨に濡れずに乗降することが出来るようになりました。

現在、バスプール西側の歩道ルーフの工事を行っており、今後、東側の歩道ルーフの工事に着手する予定です。
 工事期間中は、空港利用者及び関係者の皆様に大変ご迷惑をおかけ致しますが、ご理解ご協力の程よろしく御願致します。
 （沿岸防災 田村）

供用中のバスプールルーフ、身障者乗降場

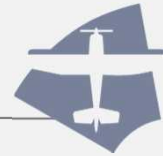


現在、工事中の歩道ルーフ（西側）
平成28年1月末頃完成予定



今後、工事予定の歩道ルーフ（東側）
平成28年3月完成予定

高松空港滑走路改良工事



当事務所では高松空港の土木工事を担当しており、現在、滑走路改良工事を実施しています。

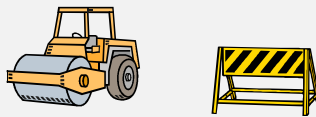
改良工事は、舗装の傷んだアスファルトを削り取り、新しいアスファルトに打ち替える舗装でいけば滑走路の若返り工事です。高松空港では、この改良工事を概ね10年間隔で行っており、平成元年の開港後2回目の施工となっております。昨年度までは誘導路を施工しており、今年度から滑走路に取りかかりました。改良工事は複数年で行うこととしており、今回は滑走路の東側一部を実施します。



▲舗設状況

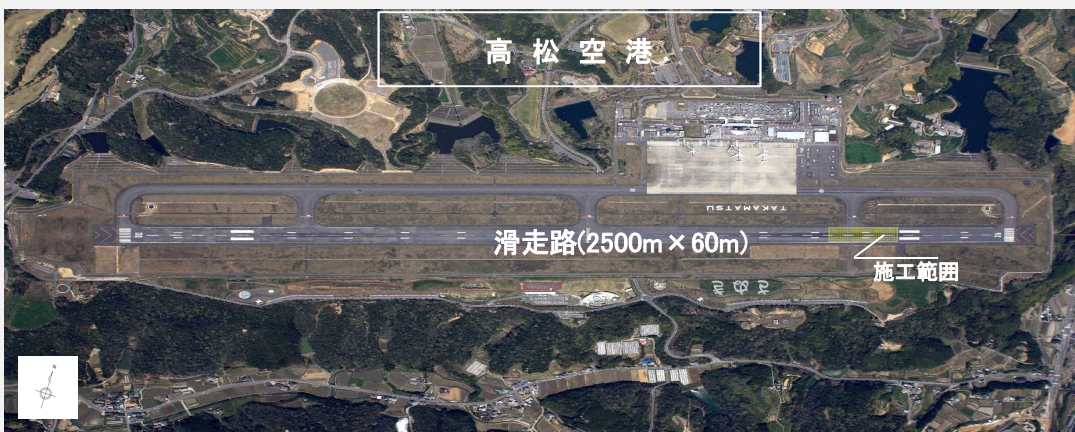


▲切削状況



施工は航空機の利用がない夜間作業で行っており、翌朝の航空機の利用開始までに終わる必要があります。施工時間の厳守が求められています。
 夜間の空港はなかなかの寒さですが、航空機の安全な運行のため、日々緊張感を持って施工をしています。

（保全課 秋山）





↑練習船海王丸 夕暮れの屋島をバックに



↑船首像 横笛を吹く女性で「紺青(こんじょう)」と名付けられています

練習船「海王丸」がやってきました



平成27年11月28日から12月2日にかけて練習船「海王丸」が高松港玉藻地区5万トン級岸壁に入港しました。練習船「海王丸」は独立行政法人航海訓練所が運航する帆船で、船員教育訓練や青少年のための海洋教室、体験航海に利用するものとして1989年に建造されました。「海王丸」は全長が110mメインマスト高が43.5mにも及ぶ世界最大級の帆船で、世界中の大型帆船が帆走性能を競いあう「ポストン・ティーポットトロフィー賞」を何度も受賞しています。

港内では安全のため大きな帆を広げた姿は見られませんが、岸壁係留時には多くの方が近くに来て眺めたり、写真を撮影されたりしています。

(港湾保安調査官 上島)

5万トン級岸壁(サンポート高松) 入港予定



練習船 銀河丸 6,185トン
入港 1月29日 10時00分
出港 2月3日 10時00分

につぼん丸 22,472トン
入港 3月24日 未定
出港 3月24日 10時00分

につぼん丸 22,472トン
入港 3月26日 16時00分
出港 3月26日 未定

【※ご注意下さい】

船の入出港時には、網取用の銃(もやい銃)が放たれる等、大変危険且つ作業の支障となりますので、岸壁付近には近づかないようお願い致します。また、入出港日、時刻はあくまで予定で、前後又は変更する場合があります。

平成27年12月22日、今年度から実施される高松空港滑走路改良工事の安全パトロールに参加してきました。工事内容は舗装の打ち替え作業の為、航空機の運航に支障が無い22時〜7時の夜間に行われます。またその中でも作業効率の都合上、気温が低く雨の少ない冬場が工事期間となっております。

現場では幅60mもある滑走路のために、道路工事等では見ることがない大型の機械が多数用意されています。中にはドイツ製のあまり数がないという貴重な機械も。そして、それらの機械を各担当者自身が自在に操り、連携をとりながらスムーズに作業を進めていく様子に圧倒されました。

安全パトロールに参加

その他、作業をされる方が機械の半径5m以内に入ると警報が鳴るといった装置も取り入れられており、安全面でも十分に配慮されていました。

(総務課 藤井)



↑工事の様子

●高松港湾・空港整備事務所

〒760-0011
高松市浜ノ町7番9号
TEL087-851-5522
FAX087-826-1210

●坂出港分室

〒762-0002
坂出市入船町1-5-26
TEL0877-46-0311
FAX0877-45-4689



国土交通省・四国地方整備局
高松港湾・空港整備事務所

【ホームページアドレス】

<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/takamatsu/>

お気軽にアクセスしてください♪
皆さんからのお便りもお待ちしています。

『海とみなとの相談窓口』全国共通フリーダイヤル

おーいによくなれみなと
0120-497-370

受付時間*：9:30~12:00と13:00~17:00
(土・日・祝祭日・年末年始を除く) *一部の地域を除きます。

